宗像を元気にしタイ！

皆さんの声を県政に届けています。

PHOTO REPORT

文教委員会委員長は東奔西走！。(任期は H27.6～H29.5)

暮らしに密接した身近な課題を取り上げ、県の対応を問いました。

文教委員長として所管の担当行事や議長の代理として県内外を駆け巡る日々でした。また、県議会本会議では、今年 10 月 29 日に宗像市で開催される「第 37 全国豊かな海づくり大会」や「児童虐待への対応」などの案件について質問。予算特別委員会では「看護師の確保」「女性農業者の支援」など身近な課題について県の対応を質しました。今年は、何といっても「宗像の年」です。宗像各地で催されるイベントやお祭りで、またご一緒させていただくことを楽しみにしております。皆さま何卒よろしくお願いします。

文教

県立学校の行事や私学、県外視察に東奔西走。

▲専修学校体育大会

▲九歯大・口腔保健センター視察

▲福岡女子大入学式

▲岩手国体で県選手団を激励

▲滋賀県比叡山高校視察

▲博多女子高校・県議会傍聴

▲八幡中央高校 100 周年式典

▲東海大付属福岡高校・甲子園出場野球部知事表敬

議会

皆さんの声を県政に届けさせて頂きました。

▲本会議一般質問

むなかた地区のイベントや祭りに足を運ぶのが楽しみです。いつも「安らぎ」と「元気」を頂き感謝しています。

▲消防・水防訓練

▲本会議一般質問

▲予算特別委員会

▲宗像地域安全大会

県議会では、大局を見据え、実現性ある要望を提言しています。

▲ＪＡ農業まつり

▲幼稚園入園式

▲赤間西コミセンまつり

◉継続要望している事業――明日の宗像づくりのために。

都市計画道路宗像福間線（東郷駅周辺）の整備促進

本路線は、宗像市西部の地域拠点と位置付けられている東郷駅周辺の交通混雑緩和を図るうえで非常に重要な路線です。

現在、平成３０年度完成を目指して宗像市施工による東郷駅北口駅前広場及び東郷駅前線整備が進んでいます。この路線は宗像大社の玄関口である東郷駅宗像大社口（旧名：北口）と八並川の左岸（北側）側を通り田熊交差点とを接続する路線であり、東郷駅へのアクセスの向上が図られるとともに周辺地区の街づくりにも寄与することから今後益々重要度は高くなります。平成２６年度より事業着手していますが、一層の事業促進を望みます。

都市計画道路宗像福間線（赤間駅周辺）の整備促進

本路線は、赤間駅北側を東西に走る重要な幹線道路です。赤間駅周辺は宗像市の中心拠点として位置付けられ、また周辺地域は住宅地として人口が増加し、さらに大型店舗の進出などで周辺地域では渋滞が日常化しています。平成２３年度には「赤間駅北口土地区画整理事業」も完成していることから、接道している当該道路の早期完成に向けて、一層の事業促進を望みます。

県道曲須恵線の事業化要望

本路線は、国道３号から宗像市の中心拠点である赤間駅周辺や主要地方道宗像玄海線（旧３号）を結ぶ重要な幹線道路で、近年赤間駅北口土地区画整理事業や、くりえいと北土地区画整理事業が相次いで完了し、しかも周辺には大型商業施設も立地しており交通量が著しく増大しています。

本要望区間は、釣川野添橋から須恵橋までの区間ですが、本区間は非常に狭隘で離合も困難なうえ、見通しが悪く幅員の狭い稲元踏切もあり、さらに歩道が無いために周辺の商業施設などへ向かう歩行者や自転車などの安全が確保されておらず、非常に危険な状態です。よって早期の事業化を望みます。

主要地方道直方宗像線の整備促進

本路線は、直方市直方を起点とし、宗像市のＪＲ教育大駅前付近を終点とする重要な県道です。

宗像市ではラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピック大会のキャンプ地誘致活動を行っており、沿線に立地するグローバルアリーナは、誘致先の中核施設として位置づけられています。

しかしながら、現道は、歩道がない箇所や見通しの悪い区間があり、また、グローバルアリーナへ進入するための右折レーンがないため、交通混雑が発生している状況です。

県道直方宗像線（猿田峠工区）道路改良事業では、急カーブの改善、歩道及び右折レーンを設け、グローバルアリーナ付近の交通の円滑化を図るものです。

現在、用地買収及び一部の工事が進められており早期完成に向けた整備促進を望みます。

県道岡垣宗像線の整備促進

本路線は、岡垣町糠塚の国道４９５号を起点とし、宗像市吉留の県道直方宗像線を終点とする県道です。終点部の吉武地区には、「八所宮」、「正助ふるさと村」、「グローバルアリーナ」などが立地し、多くの観光客や施設利用者が訪れています。

しかしながら、現道は道幅が狭く、離合が困難なうえに、歩道がなく、通学児童の安全が確保されていない状況です。

県道岡垣宗像線（吉留工区）道路改良事業では、市道を活用したバイパス整備により、本県道唯一の未改良区間を解消し、交通の円滑化及び交通の安全の確保を図るものです。

現在、測量・調査が実施されており、早期完成に向けた整備を望みます。

県道玄海田島福間線の整備促進

本路線は、国道４９５号瀬戸交差点より県内屈指の漁獲高を誇る鐘崎漁港方面へアクセスする重要な路線でありながら、道路幅員が狭小であるため、大型車同士の離合に支障を来しています。また、玄海東小学校、玄海中学校の通学路でもありますが、歩道が十分に整備されてないために歩行者に対して安全性が確保されていない状態です。昨年度より事業着手し、概ね６割程度進捗しています。早期完成に向けた整備促進を望みます。

山田川改修事業の促進要望

本河川流域では、住宅開発等により河川への負担も大きくなり、また近年のゲリラ豪雨の際には、浸水被害等も発生し、これに対応すべき河川の整備拡充が必要です。そこでこれまでに多礼～城西橋間において河川整備が進捗中ですが、平成２５年度からは更に上流の須恵橋付近までの区間において測量、調査が実施されており、平成28年度は主に用地買収が実施されています。

よって、今後一層の事業促進を望みます。

主要地方道若宮玄海線の事業化要望

本路線は、玄海ニュータウン地区や公園通り地区など住宅地区と、市の中心拠点である赤間駅周辺を結ぶ重要な道路であり、沿線にはふれあいの森運動公園などがあることから、近年自動車の通行量とともに、自転車や歩行者の通行量も多くなっています。しかし、山田交差点から公園通りまでの約１５００m区間はカーブが多く見通しも悪いうえに歩道もなく、歩行者や自転車の通行に非常に危険な状態です。よって早期の事業化を望みます。

地島小学校裏山の危険個所対策の整備促進

地島小学校は地島唯一の小学校であり、災害時には体育館が住民の指定避難所になっています。しかし、校舎北側法面は集中豪雨が続いた場合などには崩壊の危険性が懸念され、児童・生徒はもちろん、住民の安全確保のためにも早急に安全対策が必要であり、平成２８年度に急傾斜地崩壊対策事業として事業化がされています。よって、今後一層の事業促進を望みます。

宗像児童相談所の施設整備について

児童虐待に関する相談件数は増加傾向が続いており、深刻な社会問題となっています。宗像市においても宗像児童相談所の施設機能の強化と職員体制の充実が求められるところです。

宗像児童相談所については、平成30年度の竣工を予定し、一時保護業務は31年度当初の開始を予定。現在、庁舎の基本設計が進んでいます。庁舎に併設する一時保護所には少人数の居室を複数設ける計画となっており、被虐待児などへの配慮や状況に応じた援助が可能となります。相談室はプライバシー確保に留意した造りになるよう計画されています。

より充実した施設になるよう要望していきます。

また、地域で活動して頂いています民生委員・児童委員の方々が効果的な活動を行えるよう行政の支援充実を要望していきます。